

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	スーパー（副店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる、外出等の自粛傾向が続いた結果、自宅での食事が増え、食品スーパーの売上は増えている。ただし、景気が良くなっているわけではない。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの勢いが収まった分だけ人出が戻っているようである。2か月余り、外出自粛で買物を控えていた客が必要に迫られて、来店している。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の状況も多少落ち着き、県をまたぐ移動の自粛も解除された。商店街も通学客、通勤客、一般客、観光客の順に、人通りが戻り始めている。ただし、飲食、宿泊を中心に厳しい状況が続いている。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・2～3か月前は、イベントもできず客の動きも非常に悪かったが、今では工夫してイベント等を行うと、少しずつ客の動きも出てきている。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・短大はまだ登校していないようだが、中学、高校が始まって人出が増えてきている。今月の売上は前年比34%減、来客数も13%減である。前年はイベントが8件あり、300万円以上の売上があったが、今年は全くない。いつになったらイベントが再開するのか。新型コロナウイルス禍の収束には18か月かかると予測しているホテル経営者がいるが、イベントの対応で売上をあげていた当店にとっては死活問題である。数は少ないものの毎日仕事がある弁当の配達や野菜等の納品を新しく4件増やしている。もう1件、1日2万円ほどは仕事を増やしたい。
	○	コンビニ（店長）	お客様の様子	・地域的に新型コロナウイルスの感染者が少なかったこともあるが、自粛解除になったことで、比較的、人が出てきている。客が買物に来るようになったので、前月に比べれば、少し良くなってきたのではないかと。
	○	家電量販店（店長）	来客数の動き	・特別定額給付金の効果で、季節商材の動きが活発になっている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除、県をまたぐ移動自粛の解禁と、段階を踏むごとに少しずつ来客、販売は上向いてきている。しかし、いまだに元に戻っているとは言えない。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数は前年比で110%を超えており、新型コロナウイルスが落ち着き、客の購買行動が増えていると感じている。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	それ以外	・3か月前と比べたら良くなっているが、それ以前の景気から比べて良くなっているという印象である。現状、感染の第2波の入口にいるようなので、我々も警戒している。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに一定の落ち着きがみえてきたため、会議や接待の動きが少しずつ出てきているものの、動きは悪い。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、5月の宿泊実績は前年比9割減と最低だったが、6月になってビジネス客の宿泊がやや上向いてきている。また、月後半は首都圏の自粛解除の影響もあり、更に予約が増えてきている。
	○	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・今月の予約は前年並みの予約状況に戻っている。当コースは元々県外来場者が少ないため、新型コロナウイルス関連での予約減は、前月より縮小している。
	○	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	単価の動き	・当社を利用する客は少人数がほとんどである。お金をかけなくても、十分満足してもらえるような工夫、提案をしている。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対する「新しい生活様式」に慣れが出てきたのか、落ち着いた状況がみられる。先の見えない社会情勢のなかで、消費者は出費に関して慎重である。ただし、特別定額給付金の給付により、今まで我慢していたと思われる家電等の購入が出てきている。	

□	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・4～5月は広告の販促チラシの自粛があったものの、6月からはチラシの投入が増えてきており、価格競争が進行している。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・レジ袋有料化やキャッシュレス還元の終了で、客の買い控えが起きそうな気配である。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・お話にならない。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車両販売は依然、低迷を続けているが、車検や一般整備は前年同月とほぼ同じである。今後、デフレ時の価格競争のような状況になるのではないかと強く感じている。
□	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・相変わらず回復基調にならないので、変わらないとしたが、見通しは暗い。
□	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・4～5月と売上が低迷し、6月は若干期待を持っていたが、ほぼ変わらず推移している。前年比ではまだ80%減の売上である。
□	旅行代理店（副支店長）	それ以外	・新型コロナウイルス感染の拡大で3か月前と変わらない。自治体等で「ふっこう割」等の支援を受け、県内旅行者は確かに増えたものの、一時的なもので継続性がない。国内、海外共に「ふっこう割」以外の旅行や企業出張が皆無である。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・今後の経済的不安から節約志向が強くなり、解約や保留を検討する人が増えている。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されても、急激な改善はみられない。訪問営業は客の様子をみながら、徐々に再開している。
▲	商店街（代表者）	販売量の動き	・学校がようやく始まったが、特に、高校は6月まで休みだった上、クラブ活動等はまだまだできない。新入部員も入らないため、品物の動きは、まだほとんどない。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス拡大防止の自粛が解除され、少し買上点数が落ち着き、来客数も減少している。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・会社関係で金曜日が休みにになったり、新型コロナウイルスの影響で、勤務日数が減っていることで、コンビニ業界も、売上がやや低調である。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・学校のリモート化に伴う来客数減小が、大きな問題となっている。
▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・比較対象の3月よりは悪いが、4月と比べれば大分ましにはなってきた。
▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・県から休業要請のあった4～5月の底は脱して、ようやく営業再開できた。さらに、県や市による観光誘客キャンペーンで予約が入り始めている。ただし、入込は今までの半分以下で、平日はいまだに予約がなく、休館する日もある。また、浴衣や土産品、ティッシュ、酒類等の消耗品や材料が残っているため、関連業者への発注ができない。関連業者もしばらくは厳しいのではないかと。
▲	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・計画中の物件で中止や延期になる物件もあり、新規計画依頼も少ない。
▲	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・県をまたぐ移動の自粛は解除されたが、県外からの入込客は引き続き低調である。
×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客に購買意欲が全くない。
×	その他専門店 [貴金属]（営業）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で悪くなっている。
×	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、まるっきり客が来店しないので、回答のしようもない。表を見ても、歩いている人は少なく、これからどうなるのか、ただ心配なだけである。
×	都市型ホテル（スタッフ）	それ以外	・緊急事態宣言が解除され、また、県をまたぐ移動の自粛要請解除もあり、1週間ごとに人の動きが出てきている。元々、全く動きのない状況だったので、良くなっているわけではない。個人利用は、急速に動きが活発になってきているものの、法人利用はほぼ変わらず、動きがない。

	×	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、徐々に良くなってきたが、依然として悪い状況である。
	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・県をまたぐ移動の自粛が全国で解除になった翌日から営業を再開したが、今のところ来客数は平常時の1～2割程度と低調である。
	×	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が続いている。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・客足は徐々に戻ってきているが、前年比40%程度である。依然として厳しい状況には変わりがない。
	×	その他サービス [貸切バス]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は大きい。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・今月19日に県をまたぐ移動制限が解除されて以来、かなり人の流れは変わってきており、工場見学者は若干戻りつつある。ただし、パート従業員を元に戻すほどの活気はない。
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・大口の特注への対応で、多忙である。
	□	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・依然として、販売量は戻っていない。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスによりストップしていた経済活動が若干戻りつつあるものの、影響は依然として続いている。
	▲	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・普通の暮らしに戻りつつあることで単籠り特需は先細り、さらに暑い季節を迎えるため、取扱う商材の特性上、売上は減少する。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は多少あるものの、保留案件や単発物がほとんどで、安定しない。売上は落ちている。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・周辺の会社のなかには、週休3日や4日のところもあると聞いている。
	▲	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店も順次通常営業に戻ってきている。ほぼ3か月間耐久生活を強いられた反動で、多少商材も動くようになってきたが、高額商材が売れるまでには至らない。卸売では展示会、催事の中止が続いており、海外バイヤーが来日できないこと等も響き、業況の改善は見られない。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・社会的な自粛の影響により、工事発注をためらい、先行きに不安を感じている客が多く、受注が停滞している。
	▲	新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月に比べれば回復しているものの、3か月前の新型コロナウイルスによる規制がかかり始めたころと比べると、やや悪くなっている。
	×	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除され、県外ナンバーの車を見かける機会も増えてきている。ただし、外国人観光客はもちろん国内観光客も余り見かけない。観光業や宿泊業が新型コロナウイルス発生以前の水準を取り戻すには、まだまだ相当な日数が必要であると感じる。
	雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
○		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていた旅館や飲食店等の業種から、新規求人が出始めてきている。
○		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響が薄れてきつつあり、業務を再開し始めている企業が増えてきたため、やや良くなっている。
□		—	—	—
▲		職業安定所（職員）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除されても、休業を続けている企業が多くみられる。
▲		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業で、派遣、契約、パート等社員に対して、解雇や雇止めが目立ち始めている。
×		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・今夏のボーナス支給をなくした企業もあるためか、消費意欲が全くない。日中の社用車の台数や買物客の減少が目立っており、景気は上向かない。

	×	求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、求人は大幅に減少している。求人情報誌に掲載する企業は、前年同月比30%と激減している。
--	---	--------------------	--------	--